

全医・病会議発第 150 号
平成 30 年 9 月 13 日

厚生労働省医政局
局長 吉田 学 様

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
会長 山下 英俊

同上 国家試験改善検討ワーキンググループ
座長 岩間 亨



医師国家試験に関する要望書

第 112 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教員を対象にして、平成 29 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

1. 試験に関する情報公開、受験環境の整備を引き続きお願いする。
2. 難易度の高い専門医レベルの問題は排除し、臨床実習の成果を問う質の高い良質な問題の出題に尽力いただきたい。特に、一般問題には臨床実習の成果と無関係とみなされる問題が多く、共用試験 CBT との違いが明確でない問題も存在することから、その位置付けを明確にしていきたい。
3. 難易度の高い問題および必修問題で正解率の低い問題は採点から除外するなど、受験生の不利にならない適切な処置を引き続き講じていただきたい。
4. 全国医学部長病院長会議が公表した「医師養成の質保証と改革実現のためのグランドデザインー全国医学部長病院長会議の立場からー」を参考に、医師国家試験の改革に関して、関係機関で検討を続けていただきたい。

全医・病会議発第 150 号
平成 30 年 9 月 13 日

厚生労働省医政局
医事課長 佐々木 健 様

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
会長 山下 英俊

同上 国家試験改善検討ワーキンググループ
座長 岩間 亨



医師国家試験に関する要望書

第 112 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教員を対象にして、平成 29 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

1. 試験に関する情報公開、受験環境の整備を引き続きお願いする。
2. 難易度の高い専門医レベルの問題は排除し、臨床実習の成果を問う質の高い良質な問題の出題に尽力いただきたい。特に、一般問題には臨床実習の成果と無関係とみなされる問題が多く、共用試験 CBT との違いが明確でない問題も存在することから、その位置付けを明確にしていきたい。
3. 難易度の高い問題および必修問題で正解率の低い問題は採点から除外するなど、受験生の不利にならない適切な処置を引き続き講じていただきたい。
4. 全国医学部長病院長会議が公表した「医師養成の質保証と改革実現のためのグランドデザインー全国医学部長病院長会議の立場からー」を参考に、医師国家試験の改革に関して、関係機関で検討を続けていただきたい。

全医・病会議発第 150 号
平成 30 年 9 月 13 日

厚生労働省医政局医事課
試験免許室長 曾我 将久 様

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
会長 山下 英俊

同上 国家試験改善検討ワーキンググループ
座長 岩間 亨



医師国家試験に関する要望書

第 112 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教員を対象にして、平成 29 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

1. 試験に関する情報公開、受験環境の整備を引き続きお願いする。
2. 難易度の高い専門医レベルの問題は排除し、臨床実習の成果を問う質の高い良質な問題の出題に尽力いただきたい。特に、一般問題には臨床実習の成果と無関係とみなされる問題が多く、共用試験 CBT との違いが明確でない問題も存在することから、その位置付けを明確にしていきたい。
3. 難易度の高い問題および必修問題で正解率の低い問題は採点から除外するなど、受験生の不利にならない適切な処置を引き続き講じていただきたい。
4. 全国医学部長病院長会議が公表した「医師養成の質保証と改革実現のためのグランドデザインー全国医学部長病院長会議の立場からー」を参考に、医師国家試験の改革に関して、関係機関で検討を続けていただきたい。

全医・病会議発第 150 号
平成 30 年 9 月 13 日

文部科学省高等教育局
局長 義本 博司 様

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
会長 山下 英俊

同上 国家試験改善検討ワーキンググループ
座長 岩間 亨



医師国家試験に関する要望書

第 112 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教員を対象にして、平成 29 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

1. 試験に関する情報公開、受験環境の整備を引き続きお願いする。
2. 難易度の高い専門医レベルの問題は排除し、臨床実習の成果を問う質の高い良質な問題の出題に尽力いただきたい。特に、一般問題には臨床実習の成果と無関係とみなされる問題が多く、共用試験 CBT との違いが明確でない問題も存在することから、その位置付けを明確にしていきたい。
3. 難易度の高い問題および必修問題で正解率の低い問題は採点から除外するなど、受験生の不利にならない適切な処置を引き続き講じていただきたい。
4. 全国医学部長病院長会議が公表した「医師養成の質保証と改革実現のためのグランドデザインー全国医学部長病院長会議の立場からー」を参考に、医師国家試験の改革に関して、関係機関で検討を続けていただきたい。

全医・病会議発第 150 号
平成 30 年 9 月 13 日

文部科学省高等教育局
医学教育課長 西田 憲史 様

一般社団法人 全国医学部長病院長会議
会長 山下 英俊

同上 国家試験改善検討ワーキンググループ
座長 岩間



医師国家試験に関する要望書

第 112 回医師国家試験を受験した受験生および全国の大学医学部、医科大学の教員を対象にして、平成 29 年度に実施した医師国家試験に関するアンケート調査の結果に基づき、全国医学部長病院長会議として以下を要望いたします。

1. 試験に関する情報公開、受験環境の整備を引き続きお願いする。
2. 難易度の高い専門医レベルの問題は排除し、臨床実習の成果を問う質の高い良質な問題の出題に尽力いただきたい。特に、一般問題には臨床実習の成果と無関係とみなされる問題が多く、共用試験 CBT との違いが明確でない問題も存在することから、その位置付けを明確にしていきたい。
3. 難易度の高い問題および必修問題で正解率の低い問題は採点から除外するなど、受験生の不利にならない適切な処置を引き続き講じていただきたい。
4. 全国医学部長病院長会議が公表した「医師養成の質保証と改革実現のためのグランドデザインー全国医学部長病院長会議の立場からー」を参考に、医師国家試験の改革に関して、関係機関で検討を続けていただきたい。